

令和3年度 ダニ又はダニアルレルゲン検査 結果表

令和3年12月11日
大阪市学校薬剤師会

【ベッド】保健室等の寝具：ベッド、マットレス、掛敷布団

令和3年度		判 定										検体数 合計
		1		2		3		4		無効		
学校数		検体数	%	検体数	%	検体数	%	検体数	%	検体数	%	
小学校	288	317	84.53%	39	10.40%	11	2.93%	8	2.13%	0	0.00%	375
中学校	128	140	85.89%	14	8.59%	4	2.45%	5	3.07%	0	0.00%	163
高等学校	20	19	65.52%	6	20.69%	3	10.34%	1	3.45%	0	0.00%	29
全学校	436	476	83.95%	59	10.41%	18	3.17%	14	2.47%	0	0.00%	567
(前年度)	(440)	(454)	(79.23%)	(75)	(13.09%)	(34)	(5.93%)	(8)	(1.40%)	(2)	(0.35%)	(573)

【その他】カーペット、じゅうたん、畳、床、ソファ

令和3年度		判 定										検体数 合計
		1		2		3		4		無効		
学校数		検体数	%	検体数	%	検体数	%	検体数	%	検体数	%	
小学校	288	147	73.13%	26	12.94%	17	8.46%	11	5.47%	0	0.00%	201
中学校	128	55	59.78%	15	16.30%	13	14.13%	9	9.78%	0	0.00%	92
高等学校	20	7	63.64%	1	9.09%	3	27.27%	0	0.00%	0	0.00%	11
全学校	436	209	68.75%	42	13.82%	33	10.86%	20	6.58%	0	0.00%	304
(前年度)	(440)	(209)	(68.30%)	(43)	(14.05%)	(30)	(9.80%)	(24)	(7.84%)	(0)	(0%)	(306)

*判定4（20検体）の内訳

カーペット・じゅうたん	12検体	5.45%	(12/220)	畳	4検体	8.33%	(4/48)	床・マット	2検体	11.1%	(2/18)	ソファ	2検体	20%	(2/10)
-------------	------	-------	----------	---	-----	-------	--------	-------	-----	-------	--------	-----	-----	-----	--------

【全検体】

令和3年度		判 定										検体数 合計
		1		2		3		4		無効		
学校数		検体数	%	検体数	%	検体数	%	検体数	%	検体数	%	
小学校	288	464	80.56%	65	11.28%	28	4.86%	19	3.30%	0	0.00%	576
中学校	128	195	76.47%	29	11.37%	17	6.67%	14	5.49%	0	0.00%	255
高等学校	20	26	65.00%	7	17.50%	6	15.00%	1	2.50%	0	0.00%	40
全学校	436	685	78.65%	101	11.60%	51	5.86%	34	3.90%	0	0.00%	871
(前年度)	(440)	(663)	(75.43%)	(118)	(13.42%)	(64)	(7.28%)	(32)	(3.64%)	(2)	(0.23%)	(879)

【検査方法】 * 検査は マイティチェックー使用 * 判定は 10分後の発色で行う

* 判定基準は ダニ数は100匹/㎡以下、またはこれと同等のアレルゲン量であること

判定結果	ダニ/アレルゲンレベル	判定の目安	汚染度
判定 1 (-)	1μg (10匹)/㎡以下	発色しない	とても快適な状態です
判定 2 (+-)	5μg (50匹)/㎡	うっすらと発色	良好なレベルです
判定 3 (+)	10μg (100匹)/㎡	ラインが明確	一般家庭のレベルです
判定 4 (++)	35μg (350匹)/㎡以上	ラインが太く濃い	通常より多く、除去が必要です
無 効	両方にラインが現れない、または判定基準線が現れない場合は判定は無効です		

* 数値は粗抗原(ダニ抽出物)量です。ダニ(ヒョウダニ)匹数は目安として記載しています。

今年度のダニ検査ですが、全検体での結果は一般家庭と同等か、それ以上の良い状態であるとされる判定1~3が全871検体中837検体96.10%でした。この数字は年度ごとに94.31%⇒95.19%⇒96.13%⇒96.10%と推移しており、毎年のように高い水準で清潔が保たれています。

また、コロナ禍で保健室のベッド使用を中止している校や、学校側の希望で寝具の検査よりも他所を優先したいという事で、寝具以外の2箇所を検査対象とした学校が7校ありました。

場所別の結果としては、保健室等寝具での判定4『不適』がR1年度3.25% (19/585) R2年度1.4% (8/573) からR3年度2.47% (14/567) と、激減した昨年度からは少し増えました。判定4となった検査票にはマットレス等の天日干しやシーツの洗濯回数を増やす指示をされているものが多くみられました。

その他(寝具以外)の検査においては、判定4『不適』の割合が前年度7.84% (24/306) から6.58% (20/304) と少し減り、改善がみられました。内訳としては、カーペット・絨毯が『不適』の20検体中12検体と半分以上を占め、残りは畳4検体、マット2検体、ソファ2検体という結果でした。しかしながら、数とは逆に不適の割合はカーペット・絨毯は5.45%と低く、ソファは20%と高値となりました。検体数に差があるので一概には言えませんが、こまめに掃除機をかけるのがなかなか難しいのも原因でしょうか。

いずれにしても各所定期的に掃除すること、湿気がこもらないように換気することが大事です。ダニの繁殖がみられるようなら、高温スチーム、噴霧式などの薬剤、ダニ取りマットなどでダニを駆除する必要があります。